

# 令和6年度事業報告

## 1. 事業概要

滋賀県文化振興条例（平成21年7月制定）の趣旨を踏まえ、平成23年2月に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」は令和6年度に14年目を迎えた。前年度議論した「劇場・文化ホール」をはじめとする公共文化施設は、暮らしに必要な公共サービスを支える器であるとともに、地域社会との関わりの中で存在し、建築そのものも土地の文化を表している。人口減少社会を目の当たりにして、公共建築の統廃合が議論される中で、なにを次の時代に繋いでいくべきか考える事業などを行い、提言にまとめた。

「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトについて、「2024文化で滋賀を元気に！賞」をはじめ、文化芸術の可能性を地域に取り入れる滋賀アートプラットフォーム事業を実施した。また、文化ビジネス塾では、経済性、環境性、まちづくりの観点から、これからの時代の公共建築のあり方について意見交換した。

「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供について、総会に併せて一般県民を対象に演奏会や講演会を開催した。文化経済サロンでは、県内の多くの文化ホールが建築竣工後30年以上経過する中で、文化ホール建築の再生活用について、専門家を招いて意見交換を行った。

「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開について、ホームページによる発信や、ニュースレターによる事業の告知・結果概要の報告を行った。

○会員数は下記のとおり。 ※( )内は令和5年度会員数  
会員数 156 (152)  
内訳：個人 84人 [県内77、県外7] (79)  
団体 28団体 [県内27、県外1] (28)  
法人 44団体 [県内44、県外0] (45)

## 2. 事業実績

### (1) 「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトの実施

#### ① 「2024文化で滋賀を元気に！賞」の実施

文化の力で、活力あふれる地域社会の実現に貢献されている団体または個人に、感謝と今後の活動を期待して表彰する「2024文化で滋賀を元気に！賞」を実施した。県内各地から23件の取組に推薦があり、その中から4件が大賞(1件)と各賞(3件)に選ばれた。

- ・募集期間：7月12日(金)～10月31日(木)
- ・候補件数：23件

★大賞＜映画で地域活性化文化賞＞ ムラヤマ・J・サーシ氏(東近江市)

☆各賞＜和太鼓で世界をつなぐ文化賞＞

和太鼓は世界をつなぐ滋賀夢プロジェクト(代表 山口有子氏)(彦根市)

＜水源を歩く、山の旅文化賞＞ 高島トレイル連携協議会(会長 谷口良一氏)(高島市)

＜セタシジミから広がる文化賞＞ セタシジミ祭実行委員会(代表 小島俊明氏)(大津市)

※( )内は主な活動地域

○表彰式：令和7年2月24日(月・休)

受賞者・団体には、表彰状と賞金(大賞10万円、各賞5万円)を贈呈。

## ② 「文化で滋賀を元気に！」する調査研究、提言

各事業を通して調査研究を行うとともに、地域経済という観点から滋賀県の文化振興について考えた。

### ア 滋賀アートプラットフォーム事業の開催

「文化芸術の可能性を地域に取り入れ、次世代にも魅力ある地域づくりを進める」という提言に基づき、文化芸術を通じた出会いや交流を目的とする「びわ湖・アーティスト・みんぐる」を実施した。

#### ○ びわ湖・アーティスト・みんぐる『音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.1』の開催

“近江には一木一草一石にも伝説がある”といわれるほど多くの民話がある滋賀県。

令和6年は、伊吹山や伊吹地方に伝わる特徴的な民話を、滋賀の若手作曲家と日本画家、演奏者のコラボで再評価した。地元の方も参加し、方言で民話を語っていただいた。

##### ① ワークショップ

日 時：8月3日（土）①10:30-12:00 ②13:30-15:00

場 所：伊吹薬草の里文化センター 工芸室

内 容：鉱石を砕いてつくられた「岩絵具」を実際に指で溶いて、伊吹山に咲く花や植物を描くワークショップを行った。

講 師：西川 礼華 氏（日本画家）

##### ② ライブペインティング

期 間：9月7日（土）10:00-12:00 / 13:30-15:30

9月8日（日）10:00-11:00 / 13:00-14:00 / 15:30-16:30

場 所：伊吹薬草の里文化センター ホワイエ

内 容：日本画家 西川礼華氏が、二曲一双屏風（2×4m）に伊吹の民話を描き、滋賀県立伊吹高等学校書道部「墨人」が書を添える共同制作を行った。完成作品は本公演の舞台上で民話の曲に合わせて演出として使用した。

##### ③ プレ公演

日 時：9月8日（日）14:00 開演

場 所：伊吹薬草の里文化センター ジョイホール

内 容：滋賀の若手演奏家が県内の民話をテーマにした楽曲とバロック音楽の公演を開催した。

出演者：鈴木 麻琴 氏（ソプラノ）、小林 千晶 氏（フルート）

榎山 さやか 氏（ピアノ）

##### ④ 本公演

日 時：10月27日（日）14:00 開演

場 所：伊吹薬草の里文化センター ジョイホール

内 容：県在住の若手作曲家が新曲として書きおろした伊吹地方に伝わる6つの民話楽曲を、京都市交響楽団の首席クラス奏者を中心に結成されたアンサンブルメンバーで演奏した。

出演者：源 雅子 氏（語り）、鈴木 麻琴 氏（ソプラノ）

Les Baroquennes（レ・バロクケンヌ）

中川 佳子 氏（フルート）、高山 郁子 氏（オーボエ）

石丸 美佳 氏（コントラバス）、井幡 万友美 氏（チェンバロ）

共 催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

後 援：滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、長浜市、長浜市教育委員会

米原市、米原市教育委員会、e-radio エフエム滋賀

## ○ びわ湖・アーティスト・みんぐる『C<sup>3</sup> vol.1.2～現代音楽と未来への《関》』の開催

弦楽四重奏× 現代音楽の切り口で滋賀の魅力を発信する演奏会。日本の音楽界をけん引する旬の若手作曲家に、滋賀の風土や文化に触れて弦楽四重奏曲を作曲いただくもので、令和6年は、独特の世界観で高い評価を受ける小出稚子氏が三上山に登山して作曲した弦楽四重奏曲「栖」を初演。三上山を“すみか”とするさまざまな生命や人の心を包むやさしい山が描かれた。

\*サントリー芸術財団佐治敬三賞 推薦コンサート

### ① プレ公演

● どうぶつおんがくたい × C<sup>3</sup> ～0歳からのどうぶつ音楽会～

日時：8月10日（土）13:00 開演

場所：びわ湖ホール リハーサル室

内容：本公演の委嘱作曲家・小出稚子氏が音楽監督を務める「どうぶつおんがくたい」の出演で、0歳から入場できるコンサートを開催し、ベビーカーのまま入場する多くの家族などでにぎわった。

出演：どうぶつおんがくたい

● 京都市立芸術大学現代音楽研究会 × C<sup>3</sup>～Ylang Ylang に基づく変奏～

日時：10月13日（日）15:00 開演

場所：ステイマー・ザール（守山市）

内容：近現代の作品を、サクソ四重奏、弦楽四重奏、ピアノ五重奏など色鮮やかなプログラムで開催した。また、作曲を学ぶ学生5人が、小出稚子氏のヴァイオリンの作品の変奏曲を作曲し、初演した。

出演：京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

### ② 本公演

日時：11月9日（土）14:00 開演

場所：ステイマー・ザール

出演：ルリトラノオ弦楽四重奏団

亀井 庸州 氏（ヴァイオリン）、松岡 麻衣子 氏（ヴァイオリン）

安田 貴裕 氏（ヴィオラ）、竹本 聖子 氏（チェロ）

共催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部

後援：滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、守山市、守山市教育委員会

協力：ステイマー・ザール、どうぶつおんがくたい、

京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

## イ 文化ビジネス塾（第17回）

地域の顔として文化を支える公共建築の今後のあり方について、世界的建築家の坂茂氏を迎えて経済性、環境性、まちづくりの観点から考えるシンポジウムを行なった。当日は、県内外から建築家を目指す学生をはじめ、公共建築に関心を持つ来場者で満席となり、活発な質疑応答が行われた。

日時：11月4日（月・休）15:00～17:15

会場：滋賀県立文化産業交流会館 小劇場（米原市）

テーマ：「建築とまちづくり 既存公共建築物の再生とそのポテンシャル」

～経済性、そして環境負荷を考慮したフロー型からストック型の時代～

内容：第1部 基調講演

「作品づくりと社会貢献の両立を目指して」

講師 坂茂氏（建築家）

## 第2部 対談「ひこね燦ぱれす 再生へのチャレンジ」

建築家 坂 茂 氏 × 彦根市長 和田 裕行 氏

坂茂氏と会場参加者とのクロストーク

コーディネーター 滋賀県立大学准教授 玉田 浩之 氏

共 催：滋賀県立文化産業交流会館（ビジネスカフェ in 文化産業交流会館）

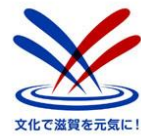
公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

### ウ 提言研究

当フォーラムの事業と連携しながら、滋賀県の様々な現状から文化と経済について、新たな展開につながる提言を行う「提言研究」。令和6年度は、人口減少社会を目の当たりにして、公共建築の統廃合が議論される中で、特に劇場・文化ホール建築の今後について、まちづくりと文化の継承の観点から、なにを次の時代に繋いでいくべきか考えた。

### ③ 「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進

県内において文化振興に関する事業を行う団体等多くの方が、シンボルマークの利用を通じて、「文化で滋賀を元気に！」していく気運や一体感が醸成されるよう利用の促進に努めた。



## (2) 「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供

### ① 総会・講演会・交流会の開催

講演会は、日本の発酵学の第一人者で東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏を迎えて開催した。鮎ずしなど優れた発酵文化を持つ滋賀。体と文化、経済に良い発酵文化のススメについてお話を伺った。

日 時：2月17日(土) 14:00～16:30 (演奏会・表彰式・講演会・提言発表)

16:50～17:20 (総会)

17:30～19:00 (交流会)

会 場：びわ湖ホール小ホール(講演会)、研修室(総会)、ラウンジ(交流会)(大津市)

参加者：(講演会) 257人 (総会) 42人 (交流会) 50人

ア 演奏会：びわ湖ホール声楽アンサンブル

イ 「2023 文化で滋賀を元気に！賞」表彰式

大賞<小原かご 山と生きる暮らしを伝える文化賞>

太々野 功 氏・荒井 恵梨子 氏(長浜市)

各賞<子どもたちが生み出す国際交流文化賞>

瀬田東国際交流クラブ(代表 津島 佳絵子 氏)(大津市)

<かるたで滋賀大好きっ子を育てる文化賞>

滋賀コレかるたで地域活性プロジェクト(代表 松井 栄里 氏)(草津市)

<よし笛で人々と水辺を元気に！文化賞>

日本よし笛協会(会長 近藤 ゆみ子 氏)(近江八幡市)

ウ 講演会：「発酵で滋賀を元気に！」

講師：小泉 武夫 氏(東京農業大学名誉教授)

エ 第14回総会

<議 案>

第1号 令和5年度事業報告(案)について

第2号 令和5年度収支決算(案)について

第3号 令和6年度事業計画(案)について

第4号 令和6年度収支予算(案)について

- オ 「文化で滋賀を元気に！」する提言発表  
提言：地域拠点「劇場・文化ホール」  
～多様な人材の活躍が地域を変える、未来を創る～  
発表者：南 千勢子 氏（ピアニスト、文化・経済フォーラム滋賀副代表幹事）  
熊井 一記 氏（劇場、音楽堂等連絡協議会事務局長）

## ② 「文化経済サロン」の開催

様々な分野で活躍される方を講師に招き情報交換する「文化経済サロン」。地域社会との関わりの中で存在し、歴史や文化を育んだ公共建築。特に劇場・文化ホール建築の今後について、専門家や建築を学ぶ学生などに話題提供いただき、意見交換した。

- ア 日 時：7月31日（水）14:00～16:00  
会 場：びわ湖ホール研修室（大津市）  
講 演：「公共建築のリノベーションの可能性 ―建築文化の継承に向けて―」  
講 師：滋賀県立大学環境建築デザイン学科 准教授 玉田 浩之 氏
- イ 日 時：10月10日（木）14:00～16:00  
会 場：びわ湖ホール 研修室（大津市）  
講 演：「文化ホール建築の再生活用を考える」  
講 師：滋賀県立大学環境建築デザイン学科 准教授 玉田 浩之 氏  
滋賀県立大学環境化学研究科 修士1年 藤田 晴斗 氏、山中 侑汰 氏

## (3) 「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開

### ① ホームページによる発信

当フォーラムの紹介や入会案内をはじめ、各種事業の情報提供や「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進を行った。

### ② ニュースレター第12号の発行

掲載内容：文化ビジネス塾および文化経済サロン開催報告、第15回総会・講演会の告知ほか

### ③ 会員活動チラシの送付

会員の活動チラシ等を当フォーラム事業案内に併せて、会員あてに送付した。

## (4) 「文化で滋賀を元気に！」する事業への後援、参画等

① 後援：6件（5）※（ ）内は令和5年度実績数

② 参画：「びわ湖の春 音楽祭2024」

開催日：4月27日（土）、28日（日） 会場：びわ湖ホール ほか

③ 加盟：公益社団法人びわこビジターズビューロー、一般社団法人内外情勢調査会

## 3. 幹事会の開催状況

11回開催

（1月11日（木）、2月8日（木）、3月14日（木）、4月11日（木）、5月9日（木）、6月13日（木）、7月11日（木）、9月12日（木）、10月10日（木）、11月14日（木）、12月5日（木））以上